

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	2 単位	学年	1 学年
学科	情報技術科	コース		教科書	工業技術基礎（実教出版）		
副教材	自作教材						
学習目標	工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させる。また、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。実習を通して、技術者としての基本的態度を養う。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知技	思判表	主体	
1学期	4月	1 オリエンテーション (1) 安全指導（服装・態度等） (2) レポートの書き方	・工業基礎における基本的な心構え、機器や工具の取扱い、レポートの作成の留意点を理解している。	◎	○	○	
	5月	2 アプリケーション実習 Word①	・基本アプリケーションソフトの基本的な操作を習得し、各アプリケーションの有効的な利用法・活用法を身に付けようとしている。	◎	○	○	
		3 2班に分かれての実習① (1) アプリケーション実習 Word② (2) アプリケーション実習 Word③ (3) マイコンカーの製作①②	・基本アプリケーションソフトの基本的な操作を習得し、各アプリケーションの有効的な利用法・活用法を身に付けようとしている。	◎	○	○	
	6月	ア 基板の製作（はんだ付け）	・ものづくりの楽しさ・難しさを体験することにより、製作過程における問題解決の手法を身に付けることができる。	◎	○	○	
	7月	4 2班に分かれての実習② (1) 計測実習 テスタの使用法 (2) 計測実習 抵抗の直並列回路 (3) アプリケーション実習 Excel① (4) アプリケーション実習 Excel②	・電気回路の基本である抵抗の接続方法や電圧・電流・抵抗などの測定方法について理解している。	○	◎	○	
			・基本アプリケーションソフトの基本的な操作を習得し、各アプリケーションの有効的な利用法・活用法を身に付けようとしている。	◎	○	○	
2学期	8月	5 2班に分かれての実習③ (1) アプリケーション実習 Excel③ (2) アプリケーション実習 Excel④ (3) マイコンカーの製作③④	・基本アプリケーションソフトの基本的な操作を習得し、各アプリケーションの有効的な利用法・活用法を身に付けようとしている。	◎	○	○	
	9月	イ 基板の製作（エッチング作業） ウ 基板の製作（はんだ付け）	・ものづくりの楽しさ・難しさを体験することにより、製作過程における問題解決の手法を身に付けることができる。	◎	○	○	
	10月	6 2班に分かれての実習④ (1) マイコンカーの製作⑤⑥ エ 本体加工 (2) プログラミング実習 C言語① (3) プログラミング実習 C言語②	・ものづくりの楽しさ・難しさを体験することにより、製作過程における問題解決の手法を身に付けることができる。	◎	○	○	
	11月		・C言語作成の基本的な操作を習得し、プログラム作成方法を理解している。	◎	○	○	
	12月	7 2班に分かれての実習⑤ (1) アプリケーション実習 PowerPoint① (2) アプリケーション実習 PowerPoint② (3) プログラミング実習 C言語③ (4) プログラミング実習 C言語④	・基本アプリケーションソフトの基本的な操作を習得し、各アプリケーションの有効的な利用法・活用法を身に付けようとしている。	◎	○	○	
			・C言語作成の基本的な操作を習得し、プログラム作成方法を理解している。	◎	○	○	
3学期	1月	8 産業財産権 (1) 産業財産権 (2) 発明と特許制度	・技術や製造ノウハウなど、商品に高い付加価値を与える「産業財産」について理解している。産業財産権が産業を活性化させる重要なカギであることを理解している。	○	◎	○	
	2月	9 2班に分かれての実習⑥ (1) マイコンカーの製作⑦⑧ オ 配線・組立 カ 動作確認	・ものづくりの楽しさ・難しさを体験することにより、製作過程における問題解決の手法を身に付けることができる。	◎	○	○	
	3月	(2) アプリケーション実習 PowerPoint③ (3) アプリケーション実習 PowerPoint④	・基本アプリケーションソフトの基本的な操作を習得し、各アプリケーションの有効的な利用法・活用法を身に付けようとしている。	◎	○	○	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	レポートの内容、出席状況、実習態度、実習意欲、実習に対する姿勢、服装等を総合的に評価する
------	--